

【表紙】

【提出書類】	四半期報告書
【根拠条文】	金融商品取引法第24条の4の7第2項
【提出先】	関東財務局長
【提出日】	2020年8月14日
【四半期会計期間】	第10期第1四半期（自 2020年4月1日 至 2020年6月30日）
【会社名】	SBI FinTech Solutions株式会社
【英訳名】	SBI FinTech Solutions Co.,Ltd.
【代表者の役職氏名】	代表取締役社長 金子 雄一
【本店の所在の場所】	東京都渋谷区渋谷二丁目1番1号
【電話番号】	(03) 3498-5011（代表）
【事務連絡者氏名】	取締役 阿部 純一郎
【最寄りの連絡場所】	東京都渋谷区渋谷二丁目1番1号
【電話番号】	(03) 3498-5011（代表）
【事務連絡者氏名】	取締役 阿部 純一郎
【縦覧に供する場所】	該当事項なし

第一部【企業情報】

第1【企業の概況】

1【主要な経営指標等の推移】

回次	第9期 第1四半期連結 累計期間	第10期 第1四半期連結 累計期間	第9期
会計期間	自2019年4月1日 至2019年6月30日	自2020年4月1日 至2020年6月30日	自2019年4月1日 至2020年3月31日
収益 (千円)	2,149,167	2,264,486	8,700,453
税引前四半期(当期)利益 (千円)	269,867	239,770	1,240,717
四半期(当期)利益(親会社の所有者に帰属) (千円)	169,678	155,136	855,304
四半期(当期)包括利益(親会社の所有者に帰属) (千円)	143,324	165,718	811,646
親会社の所有者に帰属する持分 (千円)	3,431,433	3,874,432	4,099,755
総資産額 (千円)	29,451,235	29,348,004	24,204,128
基本的1株当たり四半期(当期)利益(親会社の所有者に帰属) (円)	7.37	6.73	37.13
希薄化後1株当たり四半期(当期)利益(親会社の所有者に帰属) (円)	7.26	6.67	36.66
親会社所有者帰属持分比率 (%)	11.65	13.20	16.94
営業活動によるキャッシュ・フロー (千円)	354,269	365,983	5,395,540
投資活動によるキャッシュ・フロー (千円)	128,293	337,558	698,629
財務活動によるキャッシュ・フロー (千円)	407,434	3,942,333	1,932,577
現金及び現金同等物の四半期末(期末)残高 (千円)	21,537,609	22,190,277	18,204,528

(注1) 当社は要約四半期連結財務諸表を作成しているため、提出会社の主要な経営指標等の推移については記載しておりません。

(注2) 当社は、国際会計基準(以下「IFRS」という。)に基づいて連結財務諸表を作成しております。

(注3) 収益には、消費税等は含まれておりません。

2【事業の内容】

当第1四半期連結累計期間において、当社グループ(当社及び当社の関係会社)が営む事業の内容について重要な変更はありません。

また、主要な関係会社に異動はありません。

第2【事業の状況】

1【事業等のリスク】

当第1四半期連結累計期間において新たに発生した事業等のリスクはありません。

また、前事業年度の有価証券報告書に記載した事業等のリスクについて重要な変更はありません。

2【経営者による財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況の分析】

文中の将来に関する事項は、当四半期連結会計期間の末日現在において判断したものであります。

(1)業績の状況

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症（COVID-19）の感染拡大による自粛ムードが4月の緊急事態宣言の発出によって一層高まり、外出や営業の自粛によって経済活動が急速に停滞しました。緊急事態宣言の解除後も新しい生活様式に基づいた行動、企業業績や雇用環境の悪化、さらには感染拡大第2波への懸念等により、景気の先行きは非常に不透明な状態が継続しております。また世界経済においても日本とは比較にならないレベルで、新型コロナウイルスの感染者が米国を中心に拡大を続けておりますが、そういった中においてもロックダウンの解除後は経済活動を優先させる動きがみられ、一向に収束に向かう気配が見られず、実体経済との両立の難しさが顕著となっております。

当社グループが事業展開する国内電子商取引（EC）市場は、コロナ禍においても巣ごもり消費を中心に一部の商材においては売上を伸ばしており、濃淡はあるものの市場全体としては比較的堅調に推移しております。また「Withコロナ」を意識し、これまで対面で行ってきた役務系サービスがオンラインへとシフトしてきているという傾向も見取れます。また国際送金市場においては、日本政府による水際施策として外国人の出入国制限が継続しており、新規の技能実習生等を対象とした会員獲得については厳しい状態が続いております。これにより、地方の農林水産業においては人出不足が深刻となる中、アジア諸国でも日本への入国を希望する人が多くいるにも関わらず、送り出しができないという状況ではあるものの、コロナ禍が落ち着いた後は、反転し多くの滞留していた外国人労働者の流入が見込まれております。

このような環境のもと、当社グループは、当第1四半期連結会計期間において「総合FinTechソリューション企業」として既存EC決済事業と共にFinTech関連事業にも注力することで成長を加速させ、顧客便益の高いサービス展開による企業価値向上を目指すことを目標としたグループ経営を行ってまいりました。決済事業における新規加盟店の獲得と売上の拡大、また国際送金市場の指標となる在留外国人数は減少したものの、為替や一部の国向け送金で特需があった影響などから、送金金額や件数は想定よりも増加し、売上は堅調に推移いたしました。一方、事業拡大に向けた人員増等管理体制強化やシステム刷新を含む先行投資により、当社グループの当第1四半期連結累計期間における経営成績は、収益2,264,486千円（前年同期比105.4%）、売上総利益1,506,896千円（前年同期比96.7%）、営業利益265,240千円（前年同期比76.3%）、税引前四半期利益239,770千円（前年同期比88.8%）、四半期利益154,356千円（前年同期比91.7%）、四半期利益（親会社の所有者に帰属）155,136千円（前年同期比91.4%）となりました。

セグメント別の業績は次のとおりであります。

決済サービス事業

決済サービス事業におきましては、ECにおける決済ソリューションの提供を行っております。当社子会社である株式会社ゼウス及び株式会社AXES Paymentが提供するクレジットカード決済、銀行振込決済、コンビニ決済等、対面・非対面を含む様々な決済サービスが属しております。

当事業におきましては、営業の新規加盟店開拓等により、決済の取扱件数・取扱高は堅調に推移した結果、収益は680,604千円（前年同期比95.5%）、営業利益は148,614千円（前年同期比80.5%）となりました。

個人向けマネーサービス事業

個人向けマネーサービス事業におきましては、SBIレミット株式会社及び韓国のSBI Cosmoney Co.,Ltd.による「国際送金サービス」が属しております。

当事業におきましては、新型コロナウイルス感染症（COVID-19）の拡大による入国制限により、国際送金における新規会員獲得が非常に難しい状態が継続しております。ですが為替の影響や在留期間が延長された外国人による郷里送金が継続しており、また一部の国向けで特需が発生した等の特殊要因もあり、コロナ禍の中においても取扱金額及び送金件数は比較的堅調に推移いたしました。一方で、事業拡大に伴う人員増や、システム刷新における先行投資により、収益は1,223,472千円（前年同期比111.6%）、営業利益は127,127千円（前年同期比67.4%）となりました。

企業支援サービス事業

企業支援サービス事業におきましては、ビジネスサーチテクノロジー株式会社が提供する「サイト内検索サービス」や、持分法適用関連会社の株式会社ブロードバンドセキュリティが提供する「総合ITセキュリティサービス」に加え、SBIビジネス・ソリューションズ株式会社が提供する、企業の「バックオフィス支援系クラウドサービス」等、EC事業者向けのサイト集客やセキュリティ関連サービス、企業の経理や会計・稟議システム等のバックオフィス業務を支援する様々なサービスが属しております。

事業におきましては、パッケージ販売売上等が好調に推移し、収益は360,410千円（前年同期比105.9%）、営業利益は81,911千円（前年同期比107.4%）となりました。

(2) 財政状態及びキャッシュ・フローの状況

当第1四半期連結会計期間末の総資産は29,348,004千円となり、前連結会計年度末の24,204,128千円から5,143,876千円の増加となりました。また、資本合計は前連結会計年度末に比べ273,597千円減少し3,881,195千円となりました。

なお、当第1四半期連結累計期間における現金及び現金同等物は、前連結会計年度末に比べ為替変動の影響による増加額14,991千円を含め3,985,749千円増加し、22,190,277千円となりました。当第1四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況及び主な要因は以下のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

当第1四半期連結累計期間において、営業活動によるキャッシュ・フローは365,983千円の収入（前年同期は354,269千円の支出）となりました。これは主に仕入債務及びその他の債務の増加831,009千円によるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

当第1四半期連結累計期間において、投資活動によるキャッシュ・フローは337,558千円の支出（前年同期は128,293千円の支出）となりました。これは主に無形資産の取得による支出181,037千円によるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

当第1四半期連結累計期間において、財務活動によるキャッシュ・フローは3,942,333千円の収入（前年同期は407,434千円の支出）となりました。これは主に短期借入金の純増減額3,475,100千円によるものであります。

(3) 事業上及び財務上の対処すべき課題

当第1四半期連結累計期間において、事業上及び財務上の対処すべき課題に重要な変更及び新たに生じた課題はありません。

(4) 研究開発活動

該当事項はありません。

3【経営上の重要な契約等】

該当事項はありません。

第3【提出会社の状況】

1【株式等の状況】

(1)【株式の総数等】

【株式の総数】

種類	発行可能株式総数(株)
普通株式	42,800,000
計	42,800,000

【発行済株式】

種類	第1四半期会計期間末 現在発行数(株) (2020年6月30日)	提出日現在発行数 (株)(注2) (2020年8月14日)	上場金融商品取引所 名又は登録認可金融 商品取引業協会名	内容
普通株式	24,656,540	24,048,040	韓国取引所 (KOSDAQ市場) (注1)	当社は単元株制度を 採用しておりませ ん。
計	24,656,540	24,048,040	-	-

(注1) 当社株式については、韓国取引所KOSDAQ市場上場に際し、すべての発行済株式を韓国預託決済院(KSD)に預託し、これを裏付けに発行された預託証券をもって上場するという手順を踏んでおります。このため、便宜上、当第1四半期会計期間末の預託証券保有者を株式名義人としております。

(注2) 2020年7月6日を効力発生日として自己株式608,500株を消却しました。それにより、提出日現在発行数は24,048,040株、自己株式は1,010,618株に変動しております。

(2)【新株予約権等の状況】

【ストックオプション制度の内容】

該当事項はありません。

【その他の新株予約権等の状況】

該当事項はありません。

(3)【行使価額修正条項付新株予約権付社債券等の行使状況等】

該当事項はありません。

(4)【発行済株式総数、資本金等の推移】

年月日	発行済株式 総数増減数 (株)	発行済株式 総数残高 (株)	資本金増減額 (千円)	資本金残高 (千円)	資本準備金 増減額 (千円)	資本準備金 残高 (千円)
2020年4月1日～ 2020年6月30日	-	24,656,540	-	1,452,667	-	1,402,667

(5)【大株主の状況】

当四半期会計期間は第1四半期会計期間であるため、記載事項はありません。

(6) 【議決権の状況】

当第1四半期会計期間末日現在の「議決権の状況」については、株主名簿の記載内容が確認できないため、記載することができないことから、直前の基準日（2020年3月31日）に基づく株主名簿による記載をしております。

【発行済株式】

2020年6月30日現在

区分	株式数（株）	議決権の数（個）	内容
無議決権株式	-	-	-
議決権制限株式（自己株式等）	-	-	-
議決権制限株式（その他）	-	-	-
完全議決権株式（自己株式等）	普通株式 1,619,118	-	-
完全議決権株式（その他）	普通株式 23,037,422	23,037,422	-
単元未満株式	-	-	-
発行済株式総数	24,656,540	-	-
総株主の議決権	-	23,037,422	-

【自己株式等】

2020年6月30日現在

所有所の氏名又は名称	所有者の住所	自己名義所有株式数（株）	他人名義所有株式数（株）	所有株式数の合計（株）	発行済株式総数に対する所有株式数の割合（％）
SBI FinTech Solutions株式会社	東京都渋谷区渋谷二丁目1番1号	1,619,118	-	1,619,118	6.57
計	-	1,619,118	-	1,619,118	6.57

2 【役員の状況】

該当事項はありません。

第4【経理の状況】

1. 四半期連結財務諸表の作成方法について

当社グループの要約四半期連結財務諸表は、「連結財務諸表の用語、様式及び作成方法に関する規則」（昭和51年大蔵省令第28号）第1条の2に掲げる「指定国際会計基準特定会社」の要件を満たすことから、「四半期連結財務諸表の用語、様式及び作成方法に関する規則」（平成19年内閣府令第64号）第93条の規定により、国際会計基準第34号「期中財務報告」に準拠して作成しております。

2. 監査証明について

当社は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、第1四半期連結会計期間（2020年4月1日から2020年6月30日まで）及び第1四半期連結累計期間（2020年4月1日から2020年6月30日まで）に係る要約四半期連結財務諸表について、有限責任監査法人トーマツによる四半期レビューを受けております。

1【要約四半期連結財務諸表】

(1)【要約四半期連結財政状態計算書】

(単位：千円)

	注記 番号	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第1四半期 連結会計期間 (2020年6月30日)
資産			
非流動資産			
有形固定資産(純額)	12	828,202	896,338
のれん	12	95,064	95,064
無形資産	12	1,251,329	1,604,550
持分法で会計処理されている投資	13	814,904	817,671
繰延税金資産		401,129	386,903
その他の金融資産	20	549,958	557,164
その他の非流動資産		19,489	13,735
非流動資産合計		3,960,075	4,371,425
流動資産			
棚卸資産		796	1,631
売上債権及びその他の債権	14	1,226,793	1,211,039
未収還付法人所得税		129,269	155,056
その他の金融資産	20	252,557	977,777
その他の流動資産		430,110	440,799
現金及び預金	20	18,204,528	22,190,277
流動資産合計		20,244,053	24,976,579
資産合計		24,204,128	29,348,004

(単位：千円)

	注記 番号	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第1四半期 連結会計期間 (2020年6月30日)
負債及び資本			
負債			
非流動負債			
長期借入金	17,20	1,640,592	1,777,858
社債	17,20	1,431,688	1,827,142
引当金	18	93,371	93,384
その他の金融負債		268,039	208,933
非流動負債合計		3,433,690	3,907,317
流動負債			
短期借入金	17,20	4,457,763	8,275,927
短期社債	17,20	-	95,940
仕入債務及びその他の債務	19	11,097,841	12,199,579
未払法人所得税		186,167	85,168
引当金	18	149,549	155,178
その他の金融負債		217,542	238,525
その他の流動負債		506,784	509,175
流動負債合計		16,615,646	21,559,492
負債合計		20,049,336	25,466,809
資本			
資本金		1,452,667	1,452,667
資本剰余金		(16,189)	(15,594)
利益剰余金		3,253,002	3,016,502
自己株式	15	(521,597)	(521,597)
累積その他の包括利益		(68,128)	(57,546)
親会社の所有者に帰属する持分		4,099,755	3,874,432
非支配持分		55,037	6,763
資本合計		4,154,792	3,881,195
負債及び資本合計		24,204,128	29,348,004

(2) 【要約四半期連結包括利益計算書】

(単位：千円)

	注記 番号	前第1四半期 連結累計期間 (自2019年4月1日 至2019年6月30日)	当第1四半期 連結累計期間 (自2020年4月1日 至2020年6月30日)
収益	6, 7	2,149,167	2,264,486
売上原価		(590,591)	(757,590)
売上総利益		1,558,576	1,506,896
販売費		(462,867)	(503,838)
管理費		(731,148)	(724,645)
その他の収益・費用		(16,948)	(13,173)
営業利益		347,613	265,240
金融収益	8	8,843	7,659
為替差損益		(46,701)	14,643
財務費用	8	(48,312)	(50,539)
持分法による投資損益	13	8,424	2,767
税引前四半期利益		269,867	239,770
法人所得税	9	(101,548)	(85,414)
四半期利益		168,319	154,356
その他の包括利益			
純損益に振り替えられることのない項目			
その他の包括利益を通じて公正価値で測定する金融資産の純変動		989	5,872
純損益に振り替えられることのない項目合計		989	5,872
純損益に振り替えられる可能性のある項目			
為替換算調整勘定		(27,892)	4,761
純損益に振り替えられる可能性のある項目合計		(27,892)	4,761
税引後その他の包括利益		(26,903)	10,633
四半期包括利益		141,416	164,989
四半期利益の帰属			
親会社の所有者		169,678	155,136
非支配持分		(1,359)	(780)
四半期利益		168,319	154,356
四半期包括利益の帰属			
親会社の所有者		143,324	165,718
非支配持分		(1,908)	(729)
四半期包括利益		141,416	164,989
1株当たり四半期利益			
1株当たり四半期利益(円)	11	7.37	6.73
希薄化後1株当たり四半期利益			
希薄化後1株当たり四半期利益(円)	11	7.26	6.67

(3) 【要約四半期連結持分変動計算書】

前第1四半期連結累計期間(自2019年4月1日 至2019年6月30日)

(単位：千円)

	注記	親会社の所有者に帰属する持分					
		資本金	資本剰余金			利益剰余金	自己株式
			資本準備金	その他資本剰余金	資本剰余金合計		
2019年4月1日残高		1,452,667	1,314,224	(1,330,413)	(16,189)	2,789,334	(521,597)
四半期包括利益						169,678	
四半期利益							
税引後その他の包括利益							
四半期包括利益合計		-	-	-	-	169,678	-
剰余金の配当	10					(391,636)	
支配継続子会社に対する持分変動							
2019年6月30日残高		1,452,667	1,314,224	(1,330,413)	(16,189)	2,567,376	(521,597)

(単位：千円)

	注記	親会社の所有者に帰属する持分				非支配持分	資本合計
		累積その他の包括利益			親会社の所有者に帰属する持分合計		
		その他の包括利益を通じて公正価値で測定する金融資産の純変動	為替換算調整勘定	累積その他の包括利益合計			
2019年4月1日残高		(1,765)	(22,705)	(24,470)	3,679,745	60,724	3,740,469
四半期包括利益							
四半期利益					169,678	(1,359)	168,319
税引後その他の包括利益		989	(27,343)	(26,354)	(26,354)	(549)	(26,903)
四半期包括利益合計		989	(27,343)	(26,354)	143,324	(1,908)	141,416
剰余金の配当	10				(391,636)		(391,636)
支配継続子会社に対する持分変動							-
2019年6月30日残高		(776)	(50,048)	(50,824)	3,431,433	58,816	3,490,249

当第1四半期連結累計期間(自2020年4月1日 至2020年6月30日)

(単位：千円)

	注記	親会社の所有者に帰属する持分					
		資本金	資本剰余金			利益剰余金	自己株式
			資本準備金	その他資本剰余金	資本剰余金合計		
2020年4月1日残高		1,452,667	1,314,224	(1,330,413)	(16,189)	3,253,002	(521,597)
四半期包括利益							
四半期利益						155,136	
税引後その他の包括利益							
四半期包括利益合計		-	-	-	-	155,136	-
剰余金の配当	10					(391,636)	
支配継続子会社に対する持分変動	16			595	595		
2020年6月30日残高		1,452,667	1,314,224	(1,329,818)	(15,594)	3,016,502	(521,597)

(単位：千円)

	注記	親会社の所有者に帰属する持分				非支配持分	資本合計
		累積その他の包括利益			親会社の所有者に帰属する持分合計		
		その他の包括利益を通じて公正価値で測定する金融資産の純変動	為替換算調整勘定	累積その他の包括利益合計			
2020年4月1日残高		(1,653)	(66,475)	(68,128)	4,099,755	55,037	4,154,792
四半期包括利益							
四半期利益					155,136	(780)	154,356
税引後その他の包括利益		5,872	4,710	10,582	10,582	51	10,633
四半期包括利益合計		5,872	4,710	10,582	165,718	(729)	164,989
剰余金の配当	10				(391,636)		(391,636)
支配継続子会社に対する持分変動	16				595	(47,545)	(46,950)
2020年6月30日残高		4,219	(61,765)	(57,546)	3,874,432	6,763	3,881,195

(4) 【要約四半期連結キャッシュ・フロー計算書】

(単位：千円)

注記 番号	前第1四半期連結累計期間 (自2019年4月1日 至2019年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自2020年4月1日 至2020年6月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
1. 営業活動によるキャッシュ・フロー		
(1) 税引前四半期利益	269,867	239,770
(2) 加減		
減価償却費及び償却費	116,283	149,679
金融収益	(8,843)	(7,659)
財務費用	48,312	50,539
為替差損益	20,899	42,491
持分法による投資損益	(8,424)	(2,767)
雑損失(雑収入)	1,004	(176)
	169,231	232,107
(3) 運転資本の増減		
売上債権及びその他の債権の増減	140,737	23,070
棚卸資産の増減	181	(835)
貸倒引当金の増減	(1,371)	(6,524)
その他資産の増減	(31,026)	(716,723)
仕入債務及びその他の債務の増減	(564,212)	831,009
引当金の増減	(19,788)	5,611
その他負債の増減	101,115	(3,024)
	(374,364)	132,584
小計	64,734	604,461
2. 利息の支払額	(42,899)	(37,600)
3. 法人所得税の支払額	(376,104)	(200,878)
営業活動によるキャッシュ・フロー	(354,269)	365,983

(単位：千円)

注記 番号	前第1四半期連結累計期間 (自2019年4月1日 至2019年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自2020年4月1日 至2020年6月30日)
投資活動によるキャッシュ・フロー		
利息及び配当金の受取額	1,073	923
有形固定資産の取得による支出	(32,189)	(132,290)
無形資産の取得による支出	(108,113)	(181,037)
差入営業保証金の純増減額	-	(34,806)
その他の収入(支出)	10,936	9,652
投資活動によるキャッシュ・フロー	(128,293)	(337,558)
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額	361,285	3,475,100
長期借入金の借入による収入	24,000	700,000
長期借入金の返済による支出	(343,361)	(221,761)
社債の発行による収入	-	488,247
リース債務の支払額	(57,722)	(60,668)
配当金の支払額	(391,636)	(391,636)
非支配持分からの子会社持分取得による 支出	-	(46,949)
財務活動によるキャッシュ・フロー	(407,434)	3,942,333
現金及び現金同等物の増加額(減少額)	(889,996)	3,970,758
現金及び現金同等物の期首残高	22,476,990	18,204,528
現金及び現金同等物に係る為替変動の影響 額	(49,385)	14,991
現金及び現金同等物の四半期末残高	21,537,609	22,190,277

【要約四半期連結財務諸表注記】**1. 報告企業**

SBI FinTech Solutions株式会社（以下、「当社」）は日本に所在する企業であります。

その登記している本社及び主要な事業所の住所は当社のウェブサイト(URL <https://www.sbi-finsol.co.jp/>)で開示されております。

当社の要約四半期連結財務諸表は、2020年6月30日を期末日とし、当社及びその子会社（以下、「当社グループ」）により構成されております。

当社グループは、電子商取引業者（以下、「加盟店」）と最終消費者間の決済が安全かつ簡単で、そして低コストで行われるように取次ぐ決済サービス事業、国際送金の個人向けマネーサービス事業及び企業のバックオフィスやEC事業者の集客を支援する企業支援サービス事業を営んでおります。各事業の内容については注記6に記載しております。

2. 作成の基礎

IFRSに準拠している旨

当社グループの要約四半期連結財務諸表は、「連結財務諸表の用語、様式及び作成方法に関する規則」（昭和51年大蔵省令第28号）第1条の2に掲げる「指定国際会計基準特定会社」の要件を満たすことから、「四半期連結財務諸表の用語、様式及び作成方法に関する規則」（平成19年内閣府令第64号）第93条の規定により、国際会計基準第34号「期中財務報告」に準拠して作成しており、年次連結財務諸表で要求されているすべての情報が含まれていないため、2020年3月31日に終了した連結会計年度の連結財務諸表と併せて利用されるべきものであります。

3. 重要な会計方針

当社グループが要約四半期連結財務諸表において適用する重要な会計方針は、2020年3月31日に終了した連結会計年度に係る連結財務諸表において適用した会計方針と同一であります。また、四半期連結累計期間の法人所得税は年間の見積実効税率に基づいて算定しております。

4. 重要な会計上の判断及び不確実性の見積りの主要な源泉

要約四半期連結財務諸表の作成に当たり、見積り及び仮定を行うことが要求されます。

要約四半期連結財務諸表における重要な会計上の見積り及び見積りを伴う判断については、原則として、2020年3月31日に終了した連結会計年度に係る連結財務諸表での開示内容と同様であります。

見積り及び仮定は個々の経験と利用可能なその他の要因に基づいております。そのため、実績値はこのような見積り値と異なる可能性があります。

見積り及び基礎となる仮定は継続的に見直されています。会計上の見積りの修正は、修正した期間のみに影響を与える場合は修正が行われた当該期間に認識され、修正した期間及び将来の期間の双方に影響を及ぼす場合には当該期間及び将来の期間で認識します。

5. 連結範囲の変更

本要約四半期連結財務諸表における連結範囲は、2020年3月31日に終了した連結会計年度に係る連結財務諸表から重要な変更はありません。

6. セグメント情報

(1) 報告セグメントの概要

当社グループの報告セグメントは、当社グループの構成単位のうち分離された財務諸表が入手可能であり、取締役会が、経営資源の配分の決定及び業績を評価するために定期的に検討を行う対象となっているものであります。

また、当社グループの報告セグメントはサービスの性質や対象顧客の類似性を勘案し、売上高の推移等、経済的特徴が概ね類似している事業セグメントを集約しております。

決済サービス事業はECにおける決済ソリューションの提供を行っております。クレジットカード決済、銀行振込決済、コンビニ決済等、対面・非対面を含む様々な決済サービスが属しております。

個人向けマネーサービス事業は国際送金サービスが属しております。

企業支援サービス事業は企業のバックオフィス支援やサイト内検索エンジン及びITセキュリティサービス等、企業向けの様々な支援サービスが属しております。

また、当第1四半期連結累計期間において、当社グループの重要な事業部門は日本国のみが存在しており、当社グループの連結収益の10%以上を占める日本以外の地域が存在しないため、地域別情報の開示を省略しており、連結収益の10%以上を構成する単一の外部顧客との取引もないため主要な顧客に関する情報の開示も省略しております。

(2) 報告セグメントの収益合計

前第1四半期連結累計期間(自2019年4月1日 至2019年6月30日)

(単位:千円)

	決済サービス 事業	個人向けマ ネーサービス 事業	企業支援サ ビス事業	調整額 (注2)	合計
外部顧客からの収益	712,462	1,096,486	340,219	-	2,149,167
セグメント間収益(注1)	27,156	-	14,569	(41,725)	-
連結収益合計	739,618	1,096,486	354,788	(41,725)	2,149,167
営業利益	184,532	188,537	76,281	(101,737)	347,613
金融収益	-	-	-	-	8,843
財務費用	-	-	-	-	(48,312)
為替差損益	-	-	-	-	(46,701)
持分法による投資損益	-	-	8,424	-	8,424
税引前四半期利益	-	-	-	-	269,867
その他項目					
減価償却費及び償却費	(42,205)	(41,866)	(29,314)	(2,898)	(116,283)

当第1四半期連結累計期間(自2020年4月1日 至2020年6月30日)

(単位:千円)

	決済サービス 事業	個人向けマ ネーサービス 事業	企業支援サ ビス事業	調整額 (注2)	合計
外部顧客からの収益	680,604	1,223,472	360,410	-	2,264,486
セグメント間収益(注1)	29,046	-	17,268	(46,314)	-
連結収益合計	709,650	1,223,472	377,678	(46,314)	2,264,486
営業利益	148,614	127,127	81,911	(92,411)	265,240
金融収益	-	-	-	-	7,659
財務費用	-	-	-	-	(50,539)
為替差損益	-	-	-	-	14,643
持分法による投資損益	-	-	2,767	-	2,767
税引前四半期利益	-	-	-	-	239,770
その他項目					
減価償却費及び償却費	(44,824)	(64,291)	(37,759)	(2,805)	(149,679)

(注1) セグメント間収益は、独立第三者間取引における価格に基づいております。

(注2) 当第1四半期連結累計期間における営業利益の「調整額」(92,411千円)、前第1四半期連結累計期間(101,737千円)は、報告セグメントに帰属しない本社機能に係る全社費用であります。

7. 収益

「収益」の分解は、以下のとおりであります。なお、グループ会社間の内部取引控除後の金額で表示しております。

(単位：千円)

報告セグメント	前第1四半期連結累計期間 (自2019年4月1日 至2019年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自2020年4月1日 至2020年6月30日)
決済サービス事業		
決済サービス	658,333	614,623
その他	54,129	65,981
合計	712,462	680,604
個人向けマネーサービス事業		
国際送金サービス	1,078,288	1,200,515
その他	18,198	22,957
合計	1,096,486	1,223,472
企業支援サービス事業		
バックオフィス支援サービス	188,896	211,680
サイト内検索サービス	102,220	104,900
その他	49,103	43,830
合計	340,219	360,410
連結収益合計	2,149,167	2,264,486

8. 金融収益及び財務費用

当社グループの金融収益の内容は以下のとおりであります。

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自2019年4月1日 至2019年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自2020年4月1日 至2020年6月30日)
受取利息		
現金及び預金	599	243
その他の金融資産 (FVTPL)	278	680
受取配当金		
その他の金融資産 (FVTOCI)	195	-
有価証券評価益		
その他の金融資産 (FVTPL)	7,771	6,736
合計	8,843	7,659

当社グループの金融資産別の金融収益の内容は以下のとおりであります。

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自2019年4月1日 至2019年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自2020年4月1日 至2020年6月30日)
貸付金及び債権 (現金及び預金)	599	243
償却原価で測定される金融資産に係る受取利息	599	243
その他の金融資産	8,244	7,416
FVTPL	8,049	7,416
FVTOCI	195	-
合計	8,843	7,659

当社グループの財務費用に関する内容は以下のとおりであります。

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自2019年4月1日 至2019年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自2020年4月1日 至2020年6月30日)
借入金に係る利息費用 (注)	(46,770)	(49,508)
リース債務に係る利息費用	(1,519)	(1,018)
資産除去債務に係る利息費用	(23)	(13)
償却原価で測定される金融負債に対する利息費用	(48,312)	(50,539)
合計	(48,312)	(50,539)

(注) 当社グループは、国際送金事業における関東財務局への供託金に代えて、株式会社あおぞら銀行、SBI損害保険株式会社及びSBI生命保険株式会社より、極度額合計6,600,000千円の履行保証の提供、株式会社千葉興業銀行、株式会社清水銀行及び株式会社筑波銀行より社債発行額2,000,000千円の社債保証を受けており、当該保証料は借入金に係る利息費用に含まれております。

なお、当社は、株式会社あおぞら銀行にSBIレミット株式会社の極度額3,000,000千円 (極度額は最大5,000,000千円まで増額可能) の履行保証に関してスポンサー・レターを差し入れており、ソウル保証保険株式会社にSBI Cosmoney Co., Ltd. の保証金額19,000,000千ウオンの履行保証に関して16,000,000千

ウォンの連帯保証を行っております。SBIレミット株式会社及びSBI Cosmoney Co., Ltd.が営業上の契約履行義務等を履行できない場合、当該債務を負担する必要があります。

9. 法人所得税

当社グループの当第1四半期連結累計期間及び前第1四半期連結累計期間の法人所得税は、2021年3月31日時点及び2020年3月31日時点の実効税率を合理的に見積り算定しております。当第1四半期連結累計期間及び前第1四半期連結累計期間における法人所得税の負担率は、それぞれ35.62%及び37.63%であります。

10. 配当金

当第1四半期連結累計期間において、1株当たり17円（総額391,636千円）の配当を支払っております。
なお、前第1四半期連結累計期間は、1株当たり17円（総額391,636千円）の配当を支払っております。

11. 1株当たり利益

(1) 基本的1株当たり利益

基本的1株当たり利益は当社の株主に帰属する利益を各四半期連結累計期間の加重平均普通株式数で割って計算しており、各四半期連結累計期間の基本的1株当たり利益の算定内容は以下のとおりであります。

	前第1四半期連結累計期間 (自2019年4月1日 至2019年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自2020年4月1日 至2020年6月30日)
親会社の所有者に帰属する四半期利益(千円)	169,678	155,136
加重平均普通株式数(株)	23,037,422	23,037,422
親会社の所有者に帰属する基本的1株当たり四半期利益(円)	7.37	6.73

(2) 希薄化後1株当たり利益

	前第1四半期連結累計期間 (自2019年4月1日 至2019年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自2020年4月1日 至2020年6月30日)
親会社の所有者に帰属する四半期利益(千円)	169,678	155,136
加重平均普通株式数(株)	23,375,860	23,241,971
親会社の所有者に帰属する希薄化後1株当たり四半期利益(円)	7.26	6.67

12.有形固定資産、のれん及び無形資産

当社グループの有形固定資産、のれん及び無形資産の帳簿価額の増減内容は以下のとおりであります。

(単位：千円)

	有形固定資産	のれん	無形資産	合計
2020年4月1日残高	828,202	95,064	1,251,329	2,174,595
取得	143,668	-	426,924	570,592
処分	-	-	-	-
減価償却費及び償却費	(75,751)	-	(73,928)	(149,679)
外貨換算差額	219	-	225	444
2020年6月30日残高 (注1)	896,338	95,064	1,604,550	2,595,952

(注1)有形固定資産には使用権資産が443,911千円含まれております。

13. 持分法で会計処理されている投資

当第1四半期連結会計期間末現在、持分法で会計処理されている投資の内訳は以下のとおりであります。

	会社名	主要な事業活動	法人設立及び 営業所在地	決算月	持分 比率
関連会社	株式会社ブロードバンド セキュリティ	ITセキュリティコンサルティング等セキュリティ事業	日本	6月	24.17%

株式会社ブロードバンドセキュリティの決算日は6月30日であり、当該関連会社については、当社グループの要約四半期連結財務諸表と同じ日付で作成された財務諸表を用いております。

当第1四半期連結会計期間において新株予約権を行使されたことにより、当社の所有割合は前連結会計年度末の24.19%から24.17%に変動しております。

当社グループの持分法で会計処理されている投資の増減内容は以下のとおりであります。

(単位：千円)

	持分法で会計処理されている投資
2019年4月1日残高	771,548
持分法による投資損益(注1)	43,356
2020年3月31日残高	814,904
持分法による投資損益(注2)	2,767
2020年6月30日残高	817,671

(注1) 前連結会計年度の持分法による投資損益43,356千円には、公募増資による持分変動差額3,460千円が含まれております。

(注2) 当第1四半期連結累計期間の持分法による投資損益2,767千円には、新株予約権を行使されたことによる持分変動差額(32)千円が含まれております。

14. 売上債権及びその他の債権

当社グループの売上債権及びその他の債権の内訳は以下のとおりであります。

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2020年6月30日)
売上債権	180,283	177,313
立替金	858,476	827,197
未収入金	204,673	215,451
貸倒引当金	(16,639)	(8,922)
合計	1,226,793	1,211,039

立替金は加盟店に支払われたものであり、以後の決済サービスに伴う営業預り金から回収されるものです。

売上債権は償却原価で測定される金融資産として、全額が流動資産に分類されました。また、売上債権に関する信用供与期間は2ヵ月であり、売上債権に対して利息は受け取っておりません。過去の経験上、回収期間(2ヵ月)以後30日が経過した債権は回収されない可能性が高いため、当社グループは90日が経過した債権に対して100%の貸倒引当金を設定しております。

15. 資本金及び自己株式

(1) 資本金の内容

当社グループの資本金の内容は以下のとおりであります。

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2020年6月30日)
資本金	1,452,667	1,452,667
資本金の内訳		
普通株式	1,452,667	1,452,667
合計	1,452,667	1,452,667

(2) 資本金の増減内容

当社グループの資本金の増減内容は以下のとおりであります。

	授權株式数(株)	発行済株式数(株)	資本金(千円)
2020年4月1日残高	42,800,000	24,656,540	1,452,667
2020年6月30日残高	42,800,000	24,656,540	1,452,667

普通株式(無額面株式)は1株当たり1議決権と配当金に対する権利を有します。

(3) 自己株式

当社グループの自己株式の増減内容は以下のとおりであります。

	株式数(株)	金額(千円)
2020年4月1日残高	1,619,118	521,597
2020年6月30日残高	1,619,118	521,597

16. 資本剰余金

(1) 資本剰余金の内容

当社グループの資本剰余金の内容は以下のとおりであります。

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2020年6月30日)
資本準備金	1,314,224	1,314,224
その他資本剰余金	(1,330,413)	(1,329,818)
合計	(16,189)	(15,594)

(2) その他資本剰余金の増減内容

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2020年6月30日)
期首残高	(1,330,413)	(1,330,413)
子会社の増資による持分の変動(注1)	-	595
合計	(1,330,413)	(1,329,818)

(注1) 2020年5月29日にCity Express Money Transfer Japan株式会社が所有しているSBI City Express Global社の全株式を取得したことによる変動であります。

17. 借入金及び社債

(1) 借入金及び社債の内容

当社グループの借入金及び社債の内容は以下のとおりであります。

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)		当第1四半期連結会計期間 (2020年6月30日)	
	残高	平均利率 (注2)	残高	平均利率 (注2)
当座借越(注1)	3,133,600	0.92%	6,608,700	1.16%
短期借入金	500,000	1.22%	500,000	1.22%
1年以内に返済予定の長期借入金	824,163	0.94%	1,167,227	1.04%
1年以内に返済予定の社債	-	-	95,940	0.20%
流動負債	4,457,763	-	8,371,867	-
長期借入金(1年内返済予定を除く)	1,640,592	1.14%	1,777,858	1.11%
社債	1,431,688	0.26%	1,827,142	0.24%
非流動負債	3,072,280	-	3,605,000	-
合計	7,530,043	-	11,976,867	-

(注1) 2020年6月30日現在、当座借越の限度額は12,400,000千円(2020年3月31日：11,400,000千円)であります。その他、極度借入の限度額は15,000千USドル、システム更改による設備投資目的の実行可能期間付タームローンの限度額は500,000千円(2020年3月31日：500,000千円)であります。

(注2) 平均利率は、前連結会計年度及び各四半期連結会計期間終了日現在の借入金残高を基準とした加重平均利率であります。

(2) 借入金の内容

質権として、借入金の担保に供している資産は、以下のとおりであります。

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2020年6月30日)
現金及び預金	-	1,276,269
合計	-	1,276,269

(3) 社債の発行条件の要約

当社グループの社債の発行条件の要約は、以下のとおりであります。

会社名	銘柄	発行年月日	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第1四半期 会計年度 (2020年6月30日)	利率	償還期限
SBI FinTech Solutions株式 会社	第1回無担保社 債(株式会社千葉 興業銀行保証付 および適格機関 投資家限定)	2020年2月28日	485,856	487,068	0.11%	2023年2月28日
SBI FinTech Solutions株 式会社	第1回無担保社 債(株式会社清水銀 行保証付および適 格機関投資家限 定)	2020年3月25日	945,832	947,766	0.33%	2027年3月25日
SBI FinTech Solutions株 式会社	第1回無担保社 債(株式会社筑波銀 行保証付および適 格機関投資家限 定)	2020年6月25日	-	488,247	0.20%	2025年6月25日

18. 引当金

(1) 引当金の内容

当社グループの引当金の内容は以下のとおりであります。

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2020年6月30日)
資産除去債務	93,371	93,384
従業員給付	149,549	155,178
合計	242,920	248,562
非流動負債	93,371	93,384
流動負債	149,549	155,178
合計	242,920	248,562

(2) 引当金の増減内容

当社グループの引当金の増減内容は以下のとおりであります。

(単位：千円)

	資産除去債務 (注1)	従業員給付に係る引当金 (注2)	合計
2020年4月1日残高	93,371	149,549	242,920
期中増加額	-	5,597	5,597
期中減少額(目的使用)	-	-	-
期中減少額(戻入)	-	-	-
外貨換算差額	-	32	32
時間経過による割戻	13	-	13
2020年6月30日残高	93,384	155,178	248,562

(注1) 資産除去債務は当社グループのオフィスの建物附属設備に対する原状回復義務に関するものであります。

(注2) 従業員給付に係る引当金は、賞与及び有給休暇に関するものであります。有給休暇は付与された日から2年が経過すれば消滅するため、当社グループは過去の有給休暇消化率を利用して将来の有給休暇消化率を見積り、これを有給休暇引当金の算定に利用しております。

19. 仕入債務及びその他の債務

当社グループの仕入債務及びその他の債務の内容は以下のとおりであります。

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2020年6月30日)
未払金	1,192,033	1,525,973
営業預り金	9,905,808	10,673,606
合計	11,097,841	12,199,579

未払金は主として国際送金における提携先へ未だ支払われていない送金額であります。

営業預り金はカード会社から受け取り、その後加盟店に支払われるもので、通常の預り期間は0.5～2ヵ月であり、これによる支払利息は発生しません。

20. 金融商品

(1) 金融商品の分類

当社グループの金融商品の分類の内容は以下のとおりであります。

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2020年6月30日)
金融資産		
償却原価で測定される金融資産		
現金及び預金	18,204,528	22,190,277
売上債権及びその他の債権	1,226,793	1,211,039
敷金	282,980	281,114
その他の金融資産(注2)	238,822	954,493
営業保証金	38,514	72,967
FVTPL	222,698	197,697
FVTOCI	19,690	28,670
合計	20,234,025	24,936,257
金融負債		
償却原価で測定される金融負債		
当座借越	3,133,600	6,608,700
短期借入金	500,000	500,000
1年内返済予定の長期借入金	824,163	1,167,227
長期借入金(1年内返済予定を除く)	1,640,592	1,777,858
社債	1,431,688	1,827,142
短期社債	-	95,940
仕入債務及びその他の債務	11,097,841	12,199,579
リース債務(注1)	485,581	426,137
FVTPL	-	21,321
合計	19,113,465	24,623,904

(注1) 当第1四半期連結会計期間における要約四半期連結財政状態計算書のその他の金融負債には、流動負債に217,204千円、非流動負債に208,933千円のリース債務が含まれております。

(注2) 当第1四半期連結会計期間におけるその他の金融資産には貸付債権954,206千円(貸倒引当金控除後)が含まれております。

(2) 金融商品の公正価値

償却原価で測定する金融商品の公正価値

経営者は要約四半期連結財務諸表上、すべての償却原価で測定された金融資産と金融負債の帳簿価額は公正価値に近似しているものと判断しております。

要約四半期連結財政状態計算書で認識された公正価値の測定

前連結会計年度及び当第1四半期連結会計期間終了日現在、FVTOCI及びFVTPLを除き当初認識後、公正価値で測定される金融商品はありません。

レベル2に分類される金融商品の公正価値は、取引先金融機関から提示された価格等に基づき算定しております。

レベル3に分類される金融商品については、取締役会に報告された評価方針及び手続に基づき、外部の評価専門家又は適切な評価担当者が評価の実施及び評価結果の分析を行っております。

評価結果は、担当役員及び担当部門責任者によりレビューされ、承認されております。

財務報告目的で、公正価値測定は、以下に記述するように、そのインプットが観察可能である程度、及びインプットが公正価値測定全体に与える重要性に応じてレベル1、2、3に分類されます。

レベル1：企業が測定日現在でアクセスできる同一の資産又は負債に関する活発な市場における（無調整の）相場価格をいいます。

レベル2：レベル1に含まれる相場価格以外のインプットの内、資産又は負債について直接又は間接に観察可能なものをいいます。

レベル3：資産又は負債に関する観察可能でないインプットをいいます。

(単位：千円)

	前連結会計年度(2020年3月31日)			
	レベル1	レベル2	レベル3	合計
FVTOCIの金融資産				
その他の金融資産				
株式	18,690	-	1,000	19,690
FVTPLの金融資産				
その他の金融資産				
為替予約	-	24,363	-	24,363
出資金	-	-	120,130	120,130
リース債権	-	-	78,205	78,205
FVTPLの金融負債				
その他の金融負債				
為替予約	-	-	-	-

(単位：千円)

	当第1四半期連結会計期間(2020年6月30日)			
	レベル1	レベル2	レベル3	合計
FVTOCIの金融資産				
その他の金融資産				
株式	27,670	-	1,000	28,670
FVTPLの金融資産				
その他の金融資産				
為替予約	-	-	-	-
出資金	-	-	120,644	120,644
リース債権	-	-	77,052	77,052
FVTPLの金融負債				
その他の金融負債				
為替予約	-	(21,321)	-	(21,321)

上記の金融資産につき前連結会計年度及び当第1四半期連結会計期間においてレベル1とレベル2の間の移動は発生しておりません。

(3) レベル3に分類された金融商品の期首残高から期末残高への調整表

(単位：千円)

	FVTOCIの金融資産 株式	FVTPLの金融資産 出資金	FVTPLの金融資産 リース債権	合計
2020年4月1日残高	1,000	120,130	78,205	199,335
取得	-	-	-	-
回収	-	-	(7,374)	(7,374)
分配	-	-	-	-
利得又は損失				
純損益	-	514	6,221	6,735
2020年6月30日残高	1,000	120,644	77,052	198,696

その他の金融資産のうち、FVTOCIの金融資産は未上場企業への出資であります。

また、FVTPLの金融資産はメガソーラー投資ファンドへの匿名組合出資とLED照明のリース取引における貸手として契約する債権であります。メガソーラー投資ファンドへの匿名組合出資について、当社グループは、経常的な公正価値測定において、インカム・アプローチに基づき、見積られた将来キャッシュ・フローに対して1.72%の割引率を適用し、公正価値を測定しております。純損益に認識した利得又は損失は要約四半期連結包括利益計算書の「金融収益」に含めております。

当第1四半期連結累計期間において取得したLED照明のリース取引における貸手として契約する債権について、当社グループは、経常的な公正価値測定において、インカム・アプローチに基づき、見積られた将来キャッシュ・フローに対して4.77%の割引率を適用し、公正価値を測定しております。本契約はパートナー企業よりLED照明を購入し、5年リースとして顧客に貸与いたします。LED照明の所有権はリース期間満了後に顧客に移転します。当該リース業務及び債権の回収等はパートナー企業のグループ企業との業務委託契約により提供を受けております。顧客がリースを中途解約した場合、残リース料の一定割合がパートナー企業のグループ企業から当社に支払われると共に、LED照明の所有権は同社に移転します。

当社グループはLED照明の購入取引、顧客へのリース取引及び業務委託契約の一連の取引の経済的実態に鑑みて、全体として金融商品(金銭消費貸借契約)として会計処理しております。

当社グループは、一連の取引に基づく純額の債権をFVTPLに分類し、実効金利法に基づき算定した利息収益680千円と公正価値評価に伴う正味利得6,735千円を要約四半期連結包括利益計算書における「金融収益」に含め表示しております。

公正価値は、割引率の上昇(下落)により減少(増加)します。

レベル3に分類される金融商品について、インプットがそれぞれ合理的に考え得る代替的な仮定に変更した場合の公正価値の著しい増減は想定されておりません。

21. 関連当事者取引

当社グループの最上位支配株主はSBIホールディングス株式会社（日本企業）であります。

当社と当社の子会社（当社の関連当事者）の間の取引は連結上消去されているため開示しておりません。当社グループとその他の関連当事者との間の取引内容は以下のとおりであります。

(1) 関連当事者との取引

各四半期連結累計期間中、当社グループの企業と当社グループに含まれていない関連当事者との取引は以下のとおりであります。

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自2019年4月1日 至2019年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自2020年4月1日 至2020年6月30日)
収益		
当社株主の関係会社	64,018	66,325
販売費及び管理費		
当社株主の関係会社	92,913	145,315
財務費用		
当社株主の関係会社	17,380	11,246

前連結会計年度及び当第1四半期連結会計期間終了日現在、関連当事者に対する債権・債務の内容は以下のとおりであります。

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第1四半期 連結会計期間 (2020年6月30日)
債権		
当社株主の関係会社	58,763	86,323
債務		
当社株主の関係会社	220,276	274,338

上記の他に、当社株主の関係会社に対し、当第1四半期連結累計期間において55,155千円、前第1四半期連結累計期間においては24,341千円のシステムの開発費用が発生し、無形資産に計上しております。

当社株主の関係会社に対し当第1四半期連結累計期間において7,891,312千円の債権回収の代行を行っており、前第1四半期連結累計期間においては5,738,461千円の債権回収の代行を行っております。

当第1四半期連結累計期間において当社株主の関係会社を通じて決済された14,565,394千円の預り金の支払代行を行っており、前第1四半期連結累計期間においては14,933,169千円の預り金の支払代行を行っております。

SBIレミット株式会社は、国際送金事業における関東財務局への供託金に代えて、SBI損害保険株式会社から極度額600,000千円及びSBI生命保険株式会社から極度額1,000,000千円の履行保証の提供を受けております。

関連当事者との取引は当社グループの一般的な取引条件によって行われております。

関連当事者間の債権・債務に対して提供した担保、又は提供された担保は存在せず、将来に現金で決済されます。当該債権・債務に対する保証取引はありません。

前連結会計年度及び当第1四半期連結会計期間終了日現在、関連当事者に対する債権が不良債権に分類されることにより認識した費用はありません。

(2) 主要な経営幹部に対する報酬

各四半期連結累計期間中、取締役及びその他の主要な経営者に対する報酬は以下のとおりであります。

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自2019年4月1日 至2019年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自2020年4月1日 至2020年6月30日)
短期給付	58,476	49,650
退職給付費用	1,448	1,619
合計	59,924	51,269

取締役と主要な経営者に対する報酬は個々の実績と市場の傾向を考慮して株主総会で決定されます。

22. 支出に関するコミットメント

当社グループの前連結会計年度及び当第1四半期連結会計期間における決算日以降の資産の取得に係るコミットメントは以下のとおりであります。

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2020年6月30日)
有形固定資産の購入コミットメント(注1)	182,219	36,045
無形資産の購入コミットメント(注2)	930,994	894,429
合計	1,113,213	930,474

(注1) システム更改のためのシステム開発のうちインフラ開発及び送金システムの更改のための機器購入に係るものであります。

(注2) システム更改のためのシステム開発のうちインフラ開発及びアプリケーション開発及び送金システムの更改に係るものであります。

23. 要約四半期連結財務諸表の承認

当社グループは2020年6月30日をもって終了した第1四半期連結会計期間に対して国際会計基準による要約四半期連結財務諸表を作成し、2020年7月31日に取締役会にて承認されております。

24. 後発事象

該当事項はありません。

2【その他】

当社は、2020年5月28日開催の取締役会において、利益剰余金の期末配当を決議しております。配当金の総額及び1株当たりの金額は、「第4 経理の状況 1 要約四半期連結財務諸表 要約四半期連結財務諸表に対する注記10. 配当金」に記載のとおりであります。

第二部【提出会社の保証会社等の情報】

該当事項はありません。

独立監査人の四半期レビュー報告書

2020年8月12日

SBI FinTech Solutions株式会社

取締役会 御中

有限責任監査法人	トーマツ
東京事務所	

指定有限責任社員 業務執行社員	公認会計士 森田健司 印
--------------------	--------------

指定有限責任社員 業務執行社員	公認会計士 馬淵直樹 印
--------------------	--------------

監査人の結論

当監査法人は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、「経理の状況」に掲げられているSBI FinTech Solutions株式会社の2020年4月1日から2021年3月31日までの連結会計年度の第1四半期連結会計期間（2020年4月1日から2020年6月30日まで）及び第1四半期連結累計期間（2020年4月1日から2020年6月30日まで）に係る要約四半期連結財務諸表、すなわち、要約四半期連結財政状態計算書、要約四半期連結包括利益計算書、要約四半期連結持分変動計算書、要約四半期連結キャッシュ・フロー計算書及び注記について四半期レビューを行った。

当監査法人が実施した四半期レビューにおいて、上記の要約四半期連結財務諸表が、「四半期連結財務諸表の用語、様式及び作成方法に関する規則」第93条により規定された国際会計基準第34号「期中財務報告」に準拠して、SBI FinTech Solutions株式会社及び連結子会社の2020年6月30日現在の財政状態並びに同日をもって終了する第1四半期連結累計期間の経営成績及びキャッシュ・フローの状況を適正に表示していないと信じさせる事項が全ての重要な点において認められなかった。

監査人の結論の根拠

当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期レビューの基準に準拠して四半期レビューを行った。四半期レビューの基準における当監査法人の責任は、「要約四半期連結財務諸表の四半期レビューにおける監査人の責任」に記載されている。当監査法人は、我が国における職業倫理に関する規定に従って、会社及び連結子会社から独立しており、また、監査人としてのその他の倫理上の責任を果たしている。当監査法人は、結論の表明の基礎となる証拠を入手したと判断している。

要約四半期連結財務諸表に対する経営者並びに監査役及び監査役会の責任

経営者の責任は、国際会計基準第34号「期中財務報告」に準拠して要約四半期連結財務諸表を作成し適正に表示することにある。これには、不正又は誤謬による重要な虚偽表示のない要約四半期連結財務諸表を作成し適正に表示するために経営者が必要と判断した内部統制を整備及び運用することが含まれる。

要約四半期連結財務諸表を作成するに当たり、経営者は、継続企業の前提に基づき要約四半期連結財務諸表を作成することが適切であるかどうかを評価し、国際会計基準第1号「財務諸表の表示」第4項に基づき、継続企業に関する事項を開示する必要がある場合には当該事項を開示する責任がある。

監査役及び監査役会の責任は、財務報告プロセスの整備及び運用における取締役の職務の執行を監視することにある。

要約四半期連結財務諸表の四半期レビューにおける監査人の責任

監査人の責任は、監査人が実施した四半期レビューに基づいて、四半期レビュー報告書において独立の立場から要約四半期連結財務諸表に対する結論を表明することにある。

監査人は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期レビューの基準に従って、四半期レビューの過程を通じて、職業的専門家としての判断を行い、職業的懐疑心を保持して以下を実施する。

- 主として経営者、財務及び会計に関する事項に責任を有する者等に対する質問、分析的手続その他の四半期レビュー手続を実施する。四半期レビュー手続は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して実施される年度の財務諸表の監査に比べて限定された手続である。

- ・ 継続企業の前提に関する事項について、重要な疑義を生じさせるような事象又は状況に関して重要な不確実性が認められると判断した場合には、入手した証拠に基づき、要約四半期連結財務諸表において、国際会計基準第1号「財務諸表の表示」第4項に基づき、適正に表示されていないと信じさせる事項が認められないかどうか結論付ける。また、継続企業の前提に関する重要な不確実性が認められる場合は、四半期レビュー報告書において要約四半期連結財務諸表の注記事項に注意を喚起すること、又は重要な不確実性に関する要約四半期連結財務諸表の注記事項が適切でない場合は、要約四半期連結財務諸表に対して限定付結論又は否定的結論を表明することが求められている。監査人の結論は、四半期レビュー報告書日までに入手した証拠に基づいているが、将来の事象や状況により、企業は継続企業として存続できなくなる可能性がある。
- ・ 要約四半期連結財務諸表の表示及び注記事項が、国際会計基準第34号「期中財務報告」に準拠していないと信じさせる事項が認められないかどうかとともに、関連する注記事項を含めた要約四半期連結財務諸表の表示、構成及び内容、並びに要約四半期連結財務諸表が基礎となる取引や会計事象を適正に表示していないと信じさせる事項が認められないかどうかを評価する。
- ・ 要約四半期連結財務諸表に対する結論を表明するために、会社及び連結子会社の財務情報に関する証拠を入手する。監査人は、要約四半期連結財務諸表の四半期レビューに関する指示、監督及び実施に関して責任がある。監査人は、単独で監査人の結論に対して責任を負う。

監査人は、監査役及び監査役会に対して、計画した四半期レビューの範囲とその実施時期、四半期レビュー上の重要な発見事項について報告を行う。

監査人は、監査役及び監査役会に対して、独立性についての我が国における職業倫理に関する規定を遵守したこと、並びに監査人の独立性に影響を与えると合理的に考えられる事項、及び阻害要因を除去又は軽減するためにセーフガードを講じている場合はその内容について報告を行う。

利害関係

会社及び連結子会社と当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない

以上

(注) 1. 上記は四半期レビュー報告書の原本に記載された事項を電子化したものであり、その原本は当社が別途保管しております。

2. XBRLデータは四半期レビューの対象には含まれていません。